

日本レディースバドミントン連盟だより



Vol.21

J.L.B.F.

理事長 挨拶

理事長 小国 久美



令和元年度より理事長に就任させて頂き早くも4年目となりました。残念な事に、このコロナ禍により就任初年度の広島大会を開催して頂いて以来、団体戦は開催出来ないままです。来、団体戦は開催出来ないままです。来、団体戦は開催出来ないままです。来、団体戦は開催出来ないままです。

昨年度やっと個人戦が香川県にて開催して頂くことが出来、ホッとしているところですが、こういふ時期でしたので、参加者は例年の半分くらいでしたが、皆さん楽しんでプレーして下さいました。

皆さんとお会いする事が出来ず、悲しいお知らせもありました。藤田庸右名誉会長、村井広美特別顧問が昨年相次いでお亡くなりになりました。お別れすら申し上げる機会がなく、大変心苦しい思いを致しました。

2年ぶりの連盟だよりの発行となりましたが、明るいニュースを届けられない事が残念でなりません。今年度こそ、正しく恐れながら大会を開催していくつもりです。

昨年は一年遅れのオリンピックが残念ながら無観客となりましたが開催されました。今年度は初めての世界選手権

大会が8月に東京にて開催されます。是非有観客で行われ、自分の目で世界最高峰の試合を観てみたいものです。そして国際親善レディース大会にも外国人選手をお呼びして本来の大会の姿で開催出来る事を願うばかりです。

この災難の時、各都道府県でも登録者数が減少している事とあります。登録者数を戻していくためにも、色々な動きをして行きたいと思っています。

日レ塾についても、地区部会にて議論を重ねて頂き令和5年度にはまた違う方式で開催して行くこととなりました。

健康寿命を延ばしていくためにも非常に重要な役割を果たす連盟であると考えるので、益々発展させていくために御協力の程、宜しくお願いします。

本来でしたら、今年度は日本レディースバドミントン連盟40周年を迎えるところですが、役員の会議もリモートでしか開催する事が出来ず、動きが取れなかったため今年に記念式典・祝賀会を行うには無理があると判断し、来年総会時に開催することと致しました。

マスクを外して笑顔で迎えられる様になる事を期待しています。



新年度役員

会長

天野 博江

副会長

民谷千寿子

理事長

小国 久美

副理事長

香山百合子

監事

山口 美法

常任理事

廣瀬 園子

三富 久子

日景 真弓

石井るり子

齋藤ひとみ

齋藤 康子

鈴木 康子

齋藤 ゆか

早 香代

錦織 陽子

東条 美希

堂園三智子

百野 郁子

大関萬里子

綾野 志穂

竹田由美子

大上 典子

川島 満

沼澤 宏子

佐藤 利子

松下 玲子

柿澤 和美

児玉 幸代

山中佐知子

氏原 有子

岩切ひとみ

理事

右記 役員選考委員会にて推挙され、令和4年4月総会において掲載される。

追悼

名誉会長 藤田庸右 様
特別顧問 村井広美 様

お二人を偲んで

お二人の訃報に接し心より哀悼の誠を捧げたいと思います。

お二人を偲ぶことは、日本レディースバドミントン連盟の歴史を語ることに尽きると考えます。

昭和58年8月24日に東京で日本家庭婦人バドミントン連盟が設立され、当初から村井広美氏は副理事長として活躍されていました。平成12年に理事長に就任され、団体名称を日本レディースバドミントン連盟へと改称、事務局を大阪府八尾市の自宅内に移転されて以降、平成30年に会長職を退任されるまで、筆舌に尽くし難いまでの素晴らしい活躍をされました。

全日本選手権大会(都道府県対抗・クラブ対抗)、全日本競技大会(個人戦)、ヨネックス杯国際親善大会など三大会を主催するまでになった日本レディース連盟の礎となり、平成13年には藤田庸右氏を副会長に迎えられてからは二人三脚で日本レディース連盟を導いて頂きました。藤田庸右氏は平成19年に会長に就任、平成29年に名誉会長に就任され今日まで長きに亘り日本レディース連盟の為に尽力を頂きました。

藤田名誉会長は、若き日のイン

ターハイ出場経験を踏まえ、会社経営の傍ら実業団リーグにも参戦、日本バドミントン界で活躍された著名な選手・人材を育てあげた事も忘れてならないと思います。会長在任中には、大阪市東淀川区の市民交流センターでの役員会等でよくお目にかかり親しくお話をさせて頂きました。眼鏡の奥の優しいまなざし、あの独特なソフトな語り口、とても明るく気さくな方であったと懐かしく思い出しています。

村井特別顧問は、日本レディース連盟の広告塔であり常に看板を背負っているような方で、何事も組織発展の為にあり、目標を明確に掲げその実現に向けて思考行動をされていたと思います。

現在、日本レディース連盟が先に述べた三大大会を立派に主催出来ているのもお二人を抜きに語れるものではないと信じています。

偉大な功績を残されたお二人を偲び、日本レディース連盟の役員として同時期を過ごした一人として深く感謝を申し上げ哀悼の拙文を捧げます。

合掌

参与 白井 カズ子



BWF WOMEN IN BADMINTON AWARD 受賞記念祝賀会



お元気だった頃の藤田名誉会長。



第16回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)



香川県レディースバドミントン連盟

理事長 東条 美希

令和3年12月3日(金)～5日の3日間に亘り、坂出市立体育館、丸亀市民体育館の2会場に於いて、31都道府県から542名の選手の皆様にご参加いただき、標記大会を無事終了することができました。

大会の話をうけてからは、視察、準備をすすめておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、前大会が中止となり、十分な情報がかがえず不安ばかりでした。またこのような未曾有の中で、大会が開催できるのか、開催してもいいものかと葛藤の日々でした。感染拡大が落ち着き開催できたこと、無事終了できたことは本当に皆様のおかげと感謝しております。

本来ならば香川県レディースの総力をあげるべきところでしたが、感染拡大防止のため少人数での運営をすべく、打ち合わせをまいりました。また審判講習会をひらき、大会を開催するという志気を高めました。心配していた審判員は県協会にご協力いただき、なんとか人数を集めることができました。

前年度から全国大会が3大会中止となりましたが、今大会では久しぶりに選手の皆様の奮闘をみることで、試合が

できることの喜びを感じました。バドミントンを通して知り合いになれる、久しぶりにお会いできる、感動もひとしおでした。選手の皆様も事前にコロナ感染予防に気を遣っていただいたと聞き、自分たちでなく、皆様のおかげで大会ができたものと改めてお礼申し上げます。

まだまだコロナの収束見えない状況ではありますが、皆様のご健康と、レディースバドミントンのさらなる発展を祈つてやみません。この大会開催を通して学び得たものは、今後の香川県レディースの礎と絆をより確かなものにしてくれるものと思います。

最後になりましたが、開催に際しましては公益財団法人日本バドミントン協会、特別協賛のミズノ株式会社様をはじめ協賛各社様、ご後援いただいた朝日新聞社様ほか関係の皆様には大変お世話になりました。ここに厚くお礼を申し上げます。そして、日本レディース連盟の役員の皆様には、大会開催前から終了後にまで多岐にわたるご指導を賜りありがとうございました。

全国から参加して下さった選手の皆様にも心より感謝しております。ありがとうございました。



開会式



選手待機所

1部入賞者



- 優勝: 岸上 紗帆・勝間香菜恵 (京都府)
「コロナ禍の状況で、全国大会を開催して頂きありがとうございます。練習も十分に出来ない中、優勝出来るととても嬉しいです。来年に向けて、これからも頑張ります。」
- 準優勝: 松村 咲希・田尾 広美 (香川県)
- 3位: 田岸 美幸・久保田葉月 (滋賀県)



会期
場 日

令和3年12月3日～5日
坂出市立体育館
丸亀市民体育館

2部入賞者

**Eブロック●優勝：岡田 安代・松原真由美（香川県）**

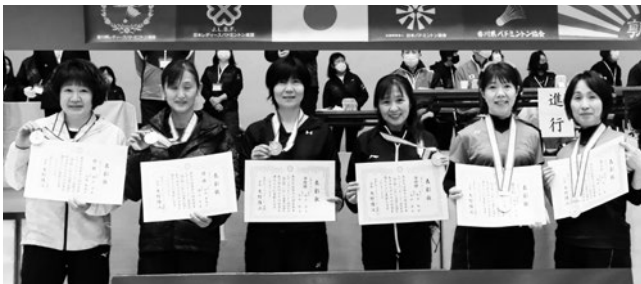
「初めて出場させて頂き、地元開催で優勝出来て嬉しいです。先輩・後輩で組んでいい思い出が出来ました。応援をしてくれた方々に感謝です。ありがとうございました。」

- 準優勝：阿久根恭子・古賀 春美（福岡県）
- 3位：堀池由紀子・高崎 朋子（東京都）

**Aブロック●優勝：竹中愛依里・木場 叶華（香川県）**

「地元開催の大会で、優勝することが出来てとても嬉しいです。また優勝出来るように怪我をしないように頑張ります！開催に関わって下さった方々に感謝致します。ありがとうございました。」

- 準優勝：武田 華澄・那須 綾子（香川県）
- 3位：松岡 麻美・増山 奈菜（香川県）

**Fブロック●優勝：竹田由美子・磯山 浩美（大阪府）**

「2年ぶりの開催となった本大会で、優勝する事が出来大変嬉しいです。大会開催にご尽力戴いた皆様と香川県レディース連盟の皆様により感謝申し上げます。来年も、皆様と笑顔でお会い出来るのを、楽しみに日々精進して参ります。」

- 準優勝：山口 淳子・大平 郁子（埼玉県）
- 3位：長野 久美・松元 恵（鹿児島県）

**Bブロック●優勝：竹内 郁・板垣 雅美（東京都）**

「初めての出場で非常に緊張しましたが、パートナーと共に楽しくバドミントンが出来、優勝出来て本当に嬉しいです。これからも頑張ります。」

- 準優勝：中山 祐美・石原 美里（静岡県）
- 3位：中江 愛・齋藤早津紀（香川県）

**Gブロック●優勝：高垣 尚美・大東恵里子（兵庫県）**

「このコロナ禍の中で試合を開催して頂いて有難うございました。私達も2年ぶりに他府県の皆様とお会いして話が出来て、バドミントンが出来てとても嬉しいです。」

- 準優勝：篠崎 悦子・落合 愛美（栃木県）
- 3位：小林 朋子・山本 晴世（静岡県）

**Cブロック●優勝：日野石智子・村上 恵（広島県）**

「コロナ禍の中、練習もなかなか出来ず、お互い怪我や病気などで体調が万全でない状況でしたが、バドミントン出来る楽しみをプレーに出せたのではないかと思います。初めての全国大会(個人戦)出場で、優勝出来て最高です!!」

- 準優勝：藤田 容子・谷口三貴子（香川県）
- 3位：野中 愛子・北島 文（福岡県）

**Hブロック●優勝：小原 真澄・佐藤 忍（宮城県）**

「まずは大会を開催して頂き有難うございました。仙台から車で1,000キロかけて来た甲斐がありました。日頃練習してくれる仲間達に感謝したいです。大会関係者の皆様、大変有難うございました。」

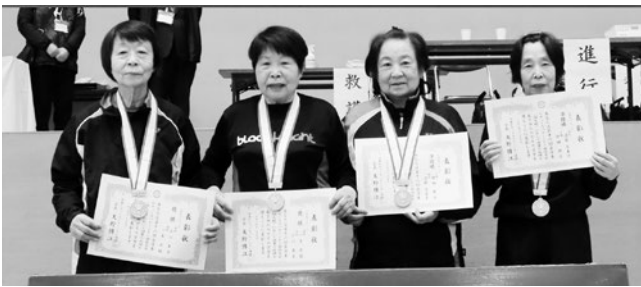
- 準優勝：磯 昌代・北林 真弓（埼玉県）
- 3位：秋山 由理・市川 治代（高知県）

**Dブロック●優勝：原口 明子・中小原知子（福岡県）**

「大変な時期に大会を開催頂き有難うございました。どの県の方も、凄まじいパワーで向って来られて、刺激されました。優勝は全ての皆様のお陰です。本当にありがとうございました。」

- 準優勝：安田 泰代・大平由理子（香川県）
- 3位：楡井 恵美・田中亜希子（東京都）

2部入賞者



Nブロック●優勝：小川 末子・一木 房江（福岡県）

「寒い一日でしたが、楽しい試合が出来ました。事故もなく終える事が出来、最年長の二人ですが、優勝出来たのも皆様の運営のお陰です。」

- 準優勝：遠藤夫美子（福島県）・村田 勝子（千葉県）
- 3位：増子 トキ・高松 悦子（福島県）



Jブロック●優勝：菊池 葉子・上田佳代子（東京都）

「三度目の参加で、優勝出来るととても嬉しいです。コロナ禍の中大会を開催して頂き、心から感謝申し上げます。有難うございました。」

- 準優勝：堂山貴美子・川谷 明子（福岡県）
- 3位：佐々木小夜子・伊藤 育子（宮城県）



試合会場



Kブロック●優勝：新田 豊子・竹林佐代子（香川県）

「パートナーを信じてお互いよかったです。バンザイ！！」

- 準優勝：本田 恵子・近藤菜穂子（愛媛県）
- 3位：日高多恵子・塩路 雅子（神奈川県）



Lブロック●優勝：田代千知子・池原 志子（神奈川県）

「大変な時期に大会を開催して頂き有難うございました。役員の皆様へ感謝致します。二年ぶりの大会でドキドキものでした。大変楽しかったです。」

- 準優勝：佐藤マツノ・大庭 弘子（神奈川県）
- 3位：宮本 容子・米口 順子（東京都）



大会風景



Mブロック

- 優勝：土庵 清子（奈良県）・石井 伸子（山口県）

「大会を開催して頂いた事に感謝致します。コロナで弱っていた心と身体を元気にして頂きました。その上優勝する事が出来とても喜んでます。役員の方々本当に有難うございました。」

- 準優勝：的場 幸枝（兵庫県）・中村 聡子（高知県）
- 3位：藤原 三和・宇野 早苗（神奈川県）

日本レディース連盟大会日程表

第40回 全日本レディースバドミントン選手権大会 (都道府県対抗・クラブ対抗)		第17回 全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)	
期 日	令和4年 7月21日(木)～24日(日)	期 日	令和4年 12月9日(金)～11日(日)
会 場	北海道立総合体育センター(北海きたえーる)	会 場	ホテル談露館、山梨県小瀬スポーツ公園・体育館、 山梨県緑ヶ丘スポーツ公園・体育館 甲府市総合市民会館・山の都アリーナ
監督会議	7月21日(木) 15:00～	代表者会議	12月9日(金) 16:00～
開 会 式	7月21日(木) 16:00～	開 会 式	12月9日(金) 17:00～
競 技	7月22日(金) 9:00～ 7月23日(土) 9:00～ 7月24日(日) 9:00～	競 技	12月10日(土) 9:00～ 12月11日(日) 9:00～
閉 会 式	7月24日(日) 競技終了後	閉 会 式	12月11日(日) 競技終了後

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2022			
期 日	令和4年 10月19日(水)～23日(日)	競 技	10月20日(木) 9:20～ 10月21日(金) 9:20～ 10月22日(土) 9:20～ 10月23日(日) 9:20～
会 場	エディオンアリーナ大阪第1、第2競技場 大阪市立浪速スポーツセンター	閉 会 式	10月23日(日) 競技終了後
代表者会議	10月19日(水) 16:30～		
開 会 式	10月19日(水) 17:10～		

オープン大会日程表

開催日	大会名	開催地	会 場
5月28日(土)	第19回ふじやまオープン レディースバドミントン大会(個人戦)	静岡県	このはなアリーナ
6月2日(木)・3日(金)	第29回福島オープン レディースバドミントン大会(個人戦)	福島県	いわき市立総合体育館
6月11日(土)	第18回福井県レディースオープン バドミントン大会(個人戦)	福井県	敦賀市総合運動公園体育館
6月16日(木)～18日(土)	第49回京都オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	京都府	島津アリーナ(府立体育館)
9月11日(日)・12日(月)	第35回奈良オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	奈良県	ロートアリーナ奈良(旧中央体育館)
9月18日(日)	第34回輝レディースオープン大会(団体戦)	山口県	維新大晃アリーナ
9月21日(水)・22日(木)	第20回大江戸オープン大会(個人戦)	東京都	武蔵野の森総合スポーツプラザ
9月23日(金祝)	第15回やまびこレディースオープン大会(個人戦)	長野県	ユメックスアリーナ塩尻市総合体育館
9月23日(金祝)・24日(土)	第6回わかバドオープン(個人戦)	和歌山県	和歌山市立河南総合体育館
9月29日(木)	第37回広島レディースオープン バドミントン大会(個人戦)	広島県	広島サンプラザ
10月6日(木)・7日(金)	第17回マザーレイクフェスティバル バドミントン大会(団体戦)	滋賀県	草津YM I Tアリーナ
10月26日(水)	第32回茨城県レディースバドミントン連盟 ひばりの会(団体戦)	茨城県	ひたちなか市総合運動公園体育館
11月3日(木祝)	第13回よさこいレディースオープン バドミントン大会(団体戦)	高知県	くろしおアリーナ
11月10日(木)	第19回北海道よさこいそららんオープン バドミントン大会(個人戦)	北海道	北海道立総合体育センター(サブ)
11月12日(土)・13日(日)	第7回清流の国ぎふレディース バドミントンオープン大会(団体戦)	岐阜県	OKB岐阜清流アリーナ
11月20日(日)	第19回湯けむりレディース バドミントンオープン大会(団体戦)	大分県	別府市総合体育館(べっぶアリーナ)
12月15日(木)～17日(土)	第17回兵庫オープンレディースバドミントン大会 すみれオープン(団体戦)	兵庫県	宝塚市立総合体育館

令和5年

1月10日(火)～12日(木) ・16日(月)・17日(火)	第14回愛知オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	愛知県	名古屋市露橋スポーツセンター
1月27日(金)	第49回長崎県レディース バドミントンオープン大会(団体戦)	長崎県	長崎県立総合体育館
2月4日(土)	第2回OGU cup京都府レディースバドミントン 年齢別オープン大会2022(個人戦)	京都府	島津アリーナ(府立体育館)
2月11日(土)・12日(日)	第9回和歌山オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	和歌山県	和歌山県立体育館
2月15日(水)・16日(木)	第27回千葉・菜の花オープン大会	千葉県	千葉ポートアリーナ
3月12日(日)	2022徳島県レディース阿波踊りオープン バドミントン大会(団体戦)	徳島県	アミノバリューホール(鳴門市)



北海道ブロック 常任理事
北海道 日景 真弓

当連盟では、課題となっており、新規会員獲得の取り組みといたしまして、2019年に初めて交流会を開催しましたが、翌年以降はコロナ感染拡大の影響で交流会のみならず大会も実施出来ず、会員増加には至っておりません。

今年は交流会や講習会等を開催し、会員増加につなげていければと考えております。

北海道では10年に一度、全日本レディース選手権大会（都道府県対抗クラブ対抗）が開催されますが、今年がその10年目に当たり7月21日より第40回大会を札幌市で開催いたします。

コロナ感染拡大の影響で二年間大会中止、計画していた前年の大会視察も中止となるなか小国理事長はじめ役員の方々のご指導を仰ぎながら、参加されます皆様にご安心してお越しただけですよう準備を進めているところでございます。

北海道にお越しの折には、大会の合間にぜひ豊富な当地グルメや観光スポットめぐりを堪能し、思い出に残る大会となりますことを願っております。

東北ブロック 評議員
宮城県 嗚海 みゆき

東北ブロックの活動は、令和2年度の総

会・理事会・第27回東北地区レディースバドミントン大会すべての活動が中止になりました。

令和3年度は、コロナ感染で不安の中ではありませんでしたが、総会を行うことが出来ませんでした。久しぶりに報告事項・検討事項を話し合い、充実した会議が出来たのも、参加して頂いた各県の役員の方々のお陰です。感謝申し上げます。

6年に一度の宮城県開催、第28回東北大会に向けて準備を進めてまいりましたが、予選会が出来ない県もあり、2年続けて中止という苦渋の決断となりました。大会を楽しみにされていた選手の皆様には大変申し訳なく、残念な気持ちでいっぱいです。

まだまだコロナ感染の拡散状況は厳しい現状ではありますが、コロナの終息を祈るとともに、令和4年度岩手県で第29回東北大会が開催されますことを楽しみにしております。

役員・選手が安心して参加できる大会になるよう、東北ブロック役員一同、情報交換・課題解決に取り組み、東北の活発な活動につなげていきたいと思います。

関東ブロック 理事
茨城県 齋藤 ひとみ

第十回春季関東、第十五回秋季関東ブロックの二大会（茨城県開催予定）は残念ながら中止になりました。しかし、今では各都県のチームが目指す重要な大会になっています。特に秋季大会においては経験未経験を問わないのでハイレベルな戦いになります。見ている私たちもすごい!!と感動します。そして開催県の役員の皆様に取り組み姿勢に感謝、感謝です。

この様な大きな大会になってきた裏にはこれまでの各都県の大会に係って頂いた役員の方々の熱い思いとご苦労があったるの事

だと感じています。だからこそ関東ブロックはこれからも成長し変化することが出来ると思っています。今の礎を作った先輩方のご尽力に敬意を払うと同時にこれから引き継いで行かれる新しい力にエールを送って頂ければ幸いです。柔軟な発想と心、そして揺るがざる強い意思を持ち続け少しずつ新しい関東ブロックへと変わっていくことができれば素晴らしい事だと思います。

令和4年度の関東ブロック大会は神奈川県開催の予定です。大会の準備から当日まで本当に大丈夫なのか。と心配はつきませんが感染拡大が一日でも早く終息することを祈っています。

これからも関東ブロック、一都七県で頑張っていきます。

北信越ブロック 理事
新潟県 鈴木 康子

北信越ブロックでは令和2年度の『北信越レディースクラブ対抗バドミントン大会』から現在の既存のクラスに「北信越対抗の部」（全日本大会（都道府県対抗の部）出場選手が参加）を新設し、全日本大会に向けての意識とレベルアップを図る目的で開催することが決まっています。

しかし、その矢先、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、試合開催もままならない状況が続く、新設したクラスも実施することができませんでした。

そんなコロナ禍での第16回全日本レディース競技大会（個人戦）が開催されたことは、ひとえに関係者の皆様のご尽力のおかげだと思います。ありがとうございます。

今年こそは北信越大会を開催し、前述したとおり、より多くの選手が全日本大会へチャレンジする「足がかりづくり」に北信越役員一同協力しながら頑張っていきたいと思

いと思ひますので宜しくお願い致します。

東海ブロック 理事
愛知県 柿澤 和美

令和3年度、東海ブロックは新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、東海大会団体戦・個人戦ともに開催することができませんでした。

しかし、全日本レディース選手権大会都道府県対抗・クラブ対抗の予選会はコロナ禍の中開催でき、東海ブロックは全国大会に向けて頑張つて練習してきました。結果中止となってしまいましたが、また来年に向けて一層練習を重ねて優勝できるように選手たちを後押ししていきたいと思

香川県で行われた全日本レディース大会個人戦では、岐阜県、三重県、静岡県はエントリーし好成績をおさめました。愛知県は、緊急事態宣言が出て今回は、参加できず残念でしたが、来年は是非他県と共に参加したいと思ひます。

これからも東海ブロックが、総会、理事長会等で、交流を深めるため、意見・情報交換をし、日本レディースバドミントン連盟に協力しながら、より良いブロック活動に取り組みたいと思ひます。

近畿ブロック 理事
奈良県 児玉 幸代

令和3年度より理事を務めさせて頂くことになりました児玉です。まだまだ力不足ですが、お役に立てるよう精一杯取り組んでまいりますので宜しくお願い致します。また、長年御尽力頂きました滋賀県の吉崎美智子さんと兵庫県の伴麻紀さんが理事長を退任され、友永恵子さんと畑末絵理香さんがそれぞれに新しく理事長

に就任されました。

近畿ブロックでは、総会と年四回の理事
会で活発な情報交換を行っておりまし
が、新型コロナウイルスの影響により、昨
年は二回の理事会のみとなりました。また、
毎年熱戦が繰り広げられていた近畿レ
ディースバドミントン競技大会と近畿レ
ディースバドミントン選手権大会の二大会
と、昨年度から連盟主催の大会となった近
畿シニアレディースバドミントン親睦大会
はベテラン選手による成熟した大会として
楽しみにされていたのですが、誠に残念な
ことに中止となりました。

近畿レディース連盟はもとより日本レ
ディース連盟の役員として家庭婦人連盟の
時代から数多くの功績を残されレディ
ス連盟の礎を築かれた村井広美様が昨年
の5月12日に、悲しみもまだ癒えない12
月5日にはレディース連盟を常に見守りご
支援ご指導頂いた藤田庸右様のご逝去さ
れました。故人のご遺志を受け継ぎ「近
畿は一つ」のスローガンの下、より一層の
バドミントンの普及と発展に努めていき
たいと思います。

今年にはコロナ禍を乗り越えて以前の様
に活気あふれる近畿の各大会が開催でき
るようになり、皆様とお会いして交流の深
まることを心から祈念しております。

中国ブロック 常任理事
島根県 錦織 陽子

中国ブロックでは、毎年五月にクラブ対
抗(学生時経験無い人のみ)・年齢別個人
戦(経験者も可)と二種目の選手権大会
と十一月には、親睦大会を五県が順番で当
番制にして開催しています。その時、理事
長会も開く様になっています。しかし、残
念ながらここ二年は、コロナの為に両大会
とも開催出来ませんでした。
今年に入って、オミクロン株というのが

現れ、中国地区もまん延防止重点対策措
置の対象県となる等、また一向に終息の兆
しが見えませんが、果たして今年も、大会
が開催出来るでしょうか？

そして、大会がずっと開催されない事
による弊害が起こっています。会員が減少し
ています。理由としては、試合も無いのに
会員でいる必要はないとか、当分の状況
が続くだろうし、ずっと出掛ける事がなかつ
たので、現状で満足できる、又、今までの
様なやる気がなくなつたというものです。
そうでなくても、会員登録数の少ない
島根県に於いては、連盟の存続問題と成
り兼ねません。切実な問題です。

ずっと会員減少については、検討努力し
てはいましたが、早急に解決出来る術も
無く、今日に至っております。

中国ブロックの中でも、会員数には凄
い差があります。大会時の参加の人数や、
不参加に対する参加料の支払い等、度々
話し合いを行ってききました。最終的には、
多数会員がいる県に頼っています。

日レの常任理事も今年が最終年となり
ました。現実と向き合いながら、少しでも
出来る事をやり、通常の生活が出来る日々
が早く来る事を祈る毎日です。

四国ブロック 理事
徳島県 高田 由紀江

2018年から理事をさせて頂き、何の
お役にもたえず心苦しい限りですが、全
国の活動状況を聞ける機会を頂き、大変
参考となり、頑張る力を頂きました。色々
勉強させて頂きありがとうございました。
令和3年度、四国ブロックの活動ですが、
このコロナ禍の中、各県思うようには活動
できず、やむを得ず中止としたり、規模
を縮小したりと苦慮しています。

第37回四国レディース大会は、令和3
年5月9日、高松市総合体育館で開催し

ましたが、やはりコロナの為、愛媛・高知・
徳島は参加できず香川のみで開催しま
した。1部3チーム、2部8チーム、3部
4部は各4チームの19チームが参加し、各
チーム日頃の練習の成果を発揮し、白熱し
た大会だったようです。

令和3年12月3日からは、香川県坂出
市・丸亀市にて、第16回全日本レディ
スバドミントン大会個人戦が開かれ、271
組542名の参加がありました。香川県レ
ディース連盟の方々の並々ならぬ努力で、
大会は成功裏に終わり、同じ四国プロ
ックの一員として大変うれしく思っています。

例年ですと、春に総会、秋には理事長
会と、四国の皆さんと意見を交換しま
すが、今年度はすべて中止となり残念です。
早く、コロナ禍を抜け出し、いつもの活
動が出来ることを願っています。

九州ブロック 常任理事
鹿児島県 堂園 三智子

九州ブロックでは令和3年10月17日(日)
に第43回全九州レディースバドミントン選
手権大会を開催する予定でしたが、第42
回に続き新型コロナウイルスの蔓延の為、中止となり
ました。この大会はフリーの部、40歳、45
歳、50歳、55歳、60歳(各以下の部)、65
歳以上の部の7種目3ダブルスによる団体
戦を行います。大会申し込み総数56チ
ーム中29チームの過半数以上の棄権があり
大会として成立しないと判断しました。鹿
児島県レディースバドミントン連盟は実行
委員会を立ち上げ一丸となって広告の募
集、物販販売、大会に向けての会議等々、
取り組んでまいりましたので誠に残念で
ありません。4年度は沖縄県開催の予定で
す。早く終息して無事開催され九州の選
手・役員の皆様と喜びを分かち合えるこ
とを祈念いたします。



代表者会議

編集後記

連盟だよりVol. 21を作成致
しました。
ウィルス感染が広まり2年度は
全ての事業が中止となりました。
皆様の関係されていたイベント
も延期や中止等大変ご苦労され
たと存じます。
3年度は1大会を開催するに至
りましたが、この様な状況はも
うしばらく続くと考え、創意工夫で
今期開催に向け活動して参ります。
(事務局) 足立 覚津美

発行
日本レディースバドミントン連盟
京都府京都市南区東九条下殿田町七〇
TEL 〇七五-六九-一三三八三
FAX 〇七五-六九-一三三八三

責任者 小国 久美
編集 総務 本部